

神奈川県ボランティア活動推進基金審査会懇談会

平成28年2月17日 14:00～19:00

(開会)

(基金事業課長から開会の説明)

- ・ 本日の流れ
 - ・ 平成28年度ボランティア活動補助金（新規）の選考（公開プレゼンテーション審査あり）
 - ・ 平成28年度ボランティア活動補助金（継続）の結果発表
 - ・ 平成28年度協働事業負担金の選考ほか。

(審査会長から開会の宣言)

- ・ ボランティア活動推進基金審査会懇談会を開催する。
- ・ 率直なご意見をいただき公平な審査をする必要があるため、神奈川県情報公開条例第25条第1項第1号及び第2号に該当するため非公開
- ・ 3階で行われるプレゼンテーション審査及び結果発表は公開

(審議事項1 平成28年度ボランティア活動補助金選考)

(基金事業課長から説明)

- ・ ボランティア活動補助金の申請状況（資料1）
- ・ ボランティア活動補助金の審査スケジュール（資料2）
- ・ ボランティア活動補助金申請一覧（資料3）
- ・ ボランティア活動補助金 補助金予算（資料4）
- ・ 申請団体と利害関係のある委員 なし。

(事務局から説明)

- ・ ボランティア活動補助金（新規）幹事評価一覧表（資料5）

(委員による審議)

- ・ 平成28年度ボランティア活動補助金（新規）への申請事業に対するプレゼンテーション審査時の確認事項について検討した。

(プレゼンテーション審査)

- ・ 平成28年度ボランティア活動補助金（新規）に対する公開プレゼンテーシ

ョン審査を行った。

(委員による審議)

- ・平成28年度ボランティア活動補助金(新規)への申請事業に対するプレゼンテーション審査の結果を踏まえ、各申請事業について選考の可否等について審議した。
- ・プレゼンテーション及び質疑応答、当懇談会における審議結果を次回審査会に伝え、次回審査会において採択事業を選考する。

(継続事業の結果発表)

【長坂会長】 こんにちは。お待たせしました。これから継続事業の結果を発表させていただきます。

特定非営利活動法人まなの樹 「発達障がい児に関わる教科学習教材データベース化事業」 継続を認める。補助金額200万円。

特定非営利活動法人ABCジャパン 「外国につながる子ども・若者の教育機会の保障のためのプロジェクト」 継続を認める。補助金額200万円。

特定非営利活動法人フェアスタートサポート 「18歳で就職自立を目指す若者への就労支援」 継続を認める。補助金額200万円

特定非営利活動法人市民の会 寿アルク 「アルクヒューマンセンター・アルク相談事業」 継続を認める。補助金額182万6千円

個々の事業に対する評価の詳細を、担当の委員から述べさせていただきます。

【基金事業課長】 発達障がい児に関わる教科学習教材データベース化事業について高橋委員お願いします。

【高橋委員】 おめでとうございます。とても意義のある事業提案で、多くの困っている障がい児たちのために、学校現場の先生等への普及をすることで、より効果的な学習指導に活かしていただきたいという願いをこめて、採択させていただきました。

一方、来年度は3年目の最終年度となるため、事業終了後の事業継続を意識した「ビジネスモデルの確立」をお願いしたい。

特に、公の学校現場では、多額の収入が得にくいところもあるため、メリハリをもった計画が必要だと思う。ビジネスモデルの確立において具体的には3つあって、一つ目は事業計画や具体的な実行スケジュール。二つ目はデータベースの質の保管・向上を目指し、ユーザーの声を活かした継続的なメンテナンス方法や著作権管理方法等。最後、三つ目は、子どもたち1人1人の具体的な

成長目標をイメージしたデータベースの使い方や活用方法等の確立を目指していただきたい。

そしてその結果障がいのある多くの子どもたちのために、事業継続とより充実したデータベースの構築から広く活用ができることを期待する。宜しく願います。

【基金事業課長】 外国につながる子ども・若者の教育機会の保障のためのプロジェクトについて服部委員願います。

【服部委員】 ABCさんの事業も高く評価されまして、審査会では全員一致で採択されました。こちらも3年目でいらっしやいますね。みなさんの取り組みには終わりが無いことは言うまでもありませんが、ぜひともお願いしたいのは、2016年度の取り組みを確実に実施していくとともに、補助金終了後の青写真を、描いてらっしゃるようには見えたのですが、より具体的に描き、実行体制を構築していただきたいということです。

お話の中にもフリーペーパーの広告料や成人を対象にしたポルトガル語教室の月謝など、収入確保に向けて努力されているところもありそこは高く評価するところです。

しかし、16年度事業は約450万円の事業費のうち200万円が補助金であり、取り組みを継続していくには安定した財源が不可欠ですからさらなる努力をお願いいたします。

こちらも既に進めてらっしゃるかと思うが、取り組みを通じて進学や就職をしていった若い人たちをボランティアやスタッフとして再び迎え入れていくと、こういったネットワークづくりも一層進めていただきたい。一方でこれまで蓄積されてきたノウハウを活用し、外国につながる子ども・若者から、日本人が学べる、そういう場や機会も設けていただければと思います。

最後に、16年度は補助金事業から外れましたが、未就学の子どもたちを対象にしたプレスクール。こちらも今後も継続を検討していただければなと思ってます。本事業が学校、地域、行政と連携した取り組みとして、ますます発展、充実していくことを期待しています。

【基金事業課長】 18歳で就職自立を目指す若者への就労支援について長坂会長願います。

【長坂会長】 採択させていただきました。おめでとうございます。

十分な支援が行き届いているとは言えない児童養護施設で暮らす子どもや若者に対して、仕事で役に立つ技術や情報を提供し、就労まで支援をするという

活動を高く評価しました。就職弱者に対する支援はなかなか難しい課題。皆さんの団体では施設の職員だと就労の専門知識や、企業とのつながりもないわけでありです。その中で、地域の中小企業と関係を持ちつつ、しかも地場の中小企業50社とも協力をしつつ、そういうネットワークを使いながら若者の個性を活かしたマッチングをしていくと、その仕組みそれ自身が大きな重要なモデルになると考えています。

支援のひとつとして取り組まれているパソコン教室では、受講者から MOS 試験合格者が出るなど一定の成果があり、就職する際に有利な資格を若者に取得してもらい企業とのマッチングに繋げているところも大切であり高い評価に繋がりました。

今後は児童養護施設だけでなく、定時制高校にも取り組み、アプローチを広げていただけるとプレゼンテーションでも語られており、資料も分かりやすく共感もてました。大いに期待しています。現在ホームページで実績として紹介している「実際に支援を受けた若者からの喜びの声」も寄せられております。ああいう声を今後さらに増やせるように大変期待しております。そういう若者の就労支援の一つの在り方としてモデルを作っていただければ、私たちとしても皆さんのような団体を支援できて幸せだと思いますので宜しくお願いします。

【基金事業課長】 アルクヒューマンセンター・アルク相談事業について高橋委員をお願いします。

【高橋委員】 おめでとうございます。「市民の会寿アルク」が寿地区という神奈川県において大きな課題を抱えている地域で四半世紀にわたってアルコール依存症からの回復をサポートされてきたことに敬意を表します。その実績の上に行なわれる、今回の相談支援事業強化へのチャレンジが、アルコール依存症の問題解決に大きく寄与することを期待して採択しました。

この事業でさらに蓄積されるであろう知見を「市民の会寿アルク」のデイケア施設の運営にも活かして下さい。

また、相談員の育成については、その育成過程をモデル化することで、「市民の会寿アルク」の人材育成のみならず、将来的には同様の活動を行う他の団体にも役立ててもらえるようになればと期待します。

貧困格差、高齢化といった社会の課題とアルコール依存症は切り離せないものだと解します。この相談事業を通じて、地域の抱える課題と、その解決に向けた新たなニーズの掘り起こしにも努めていただきたいと思います。引き続き応援したいと思います。

【基金事業課長】 長坂会長から講評をお願いします。

【長坂会長】 「おめでとうございます」というのはあまり使いたくないのですが、継続をしていただいて、ご尽力いただいて本当にありがとうございます。このボランティア基金21は全国的にも素晴らしい、最も先端的なすごい取組だと思います。しかし、残念ながら予算、金利その他が下がっているせいでも厳しい状態になってきております。しかし、審査の基準というのはある意味では審査基準があるのですが、一つはそれ自身が新しい先端的な取組みになっているか、同時にそれは新しいニーズを掘り起こしているのかどうかというのが最初の視点なんですね。二つ目は将来の自立を支援する仕組みでありますので、自立のための青写真が描かれているのかどうか。皆さんも絶えずこの事業は、いままでやってきた事業をお金が無くなったから申請してそれで続けたいというだけのそういう仕組みではなく、そういう側面もありますが、それに支援することではなくて、自立のビジネスモデルを作っていただく、そういうことのために3年間大きな金額を差し上げるということですので絶えず自立のための青写真を作っておられるのかというのがとても重要なことで、それがなく補助金が終わった瞬間に事業も終わってしまうということならそれは残念ながらそんな余裕は今のところないわけです。三つ目は、御経験を、私たちの支援を通じてそこで蓄積されたノウハウ、知見をまとめていただき、新しい時代にあった視野の中でまとめていただき、それを公開し分かち合ってもらいたい。公的なお金を差し上げるものですからそれを皆さんが得たノウハウは皆さんの共通のものだと思います。そこからきっと神奈川ならでは、「神奈川モデル」ができるといいなあと、皆さんの知見をまとめることを通じて、そこに神奈川らしいモデルがあって、それが神奈川だけじゃなくて日本に影響を与えるものになるだろう。そういう視点が、私たちがとても意識している点だと感じています。

そういう意味では、まなの樹は、教材のデータベースを作ることによって発達障がいの子たちの教育の地平が広がる。つまりブレイクスルーする。すごい事業だと期待をしています。ABCについても、これまでの外国につながる子ども達に様々な取組みをしてこられて、それを、自立に向かってやっていきたい。同時に蓄積されたノウハウをまとめていきたいと、そこにはきっと、まとめていただいたものが私たちみんなに、市民社会にとって参考になる新しいモデル的なものが生まれてくるのではと期待をしています。フェアスタートについても、若者の就労支援というのは大変な状況に陥っていますのでそれにどう取り組むかというのはいろんな方々がいろんな取組みをしていらっしゃるその中の一つとしてフェアスタートさんがやっていただいているわけですが、そこで持っている企業との関係の中でうまくマッチングし、そこまでフェアスタートさんの特色というのは企業とネットワークがあって、それをうまく使って

きながらやっていくという中にひとつの大きな意味があり、その中から大きな実績があるとすれば、企業とのネットワークを作ることも含めて知見をまとめていただければ、まさに日本中の団体にも役に立つのではないのでしょうか。寿アルクさんについても本当に頭が下がる活動ですが、アルコール依存症の方の相談事業の在り方、デイケア施設の運営とか、相談員の育成など本当に大変な仕事をされている中から皆さんの活動の知見が、ノウハウがまとめられたとしたならこれはおそらく日本中のみんなにとってとても参考になる。これからもアルコール依存症などは増えていくでしょうし、その問題に取り組んでいる姿勢に敬意を表しますし、同時にそれを何年かの後に、みんなでまとめて分かち合っていていただくとき「神奈川というのは市民活動がすごいなあ」と、「神奈川からいっぱい知恵が出てきている」ということになると思います。そういう意味でみなさんの御活動に期待していますのでどうか宜しくお願いいたします。

(審議事項2 平成28年度協働事業負担金の選考)

(事務局から説明)

- ・ 11月に選考された提案事業についての以下の説明
 - ・ 継続事業について、協働部署との協議の結果と、1月中に提出された交付申請について
 - ・ 新規事業について、協働部署との協議の結果と、1月中に提出された交付申請について

(委員による審議)

- ・ 継続事業については了解し、主に新規事業について審議した。
- ・ 審議結果を次回審査会に伝え、次回審査会において採択事業を選考する。

(審議事項3 平成28年度募集分協働事業負担金課題部門における「地域の課題」の設定に関する件)

(NPO協働推進課から説明)

- ・ 前回審査会において選考された課題について、出された意見を踏まえた課題設定趣旨の修正案について

(委員による審議)

- ・ 修正案の文言を精査し、意見を出し合った。
- ・ 審議結果を次回審査会に伝え、次回審査会において文言を確定する。

(閉会)

- かながわ県民活動サポートセンター所長からあいさつ。
- 次回審査会は、日程調整のうえ別途通知。